

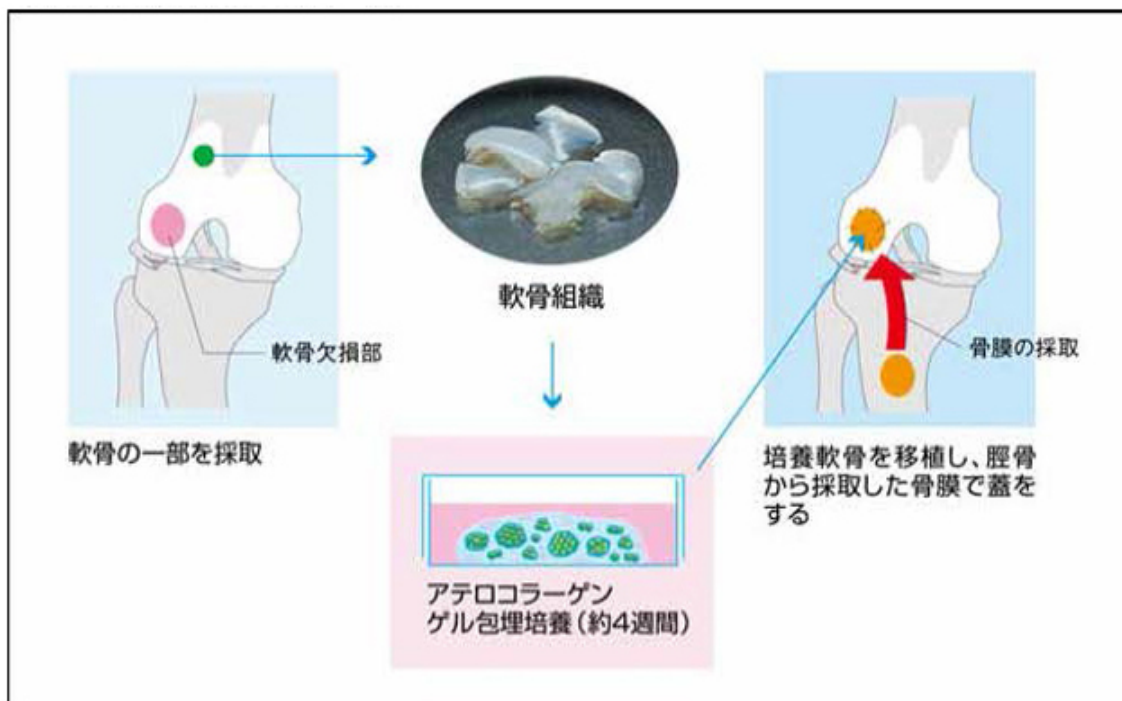
## 自家培養軟骨ジャック®

軟骨組織には血管がありません。そのため一度損傷を受けると、それを治すための細胞も、細胞を増やすための栄養も供給されないため自然には治りにくく、重篤な場合は人工関節への置換に頼るしかありませんでした。このように、自然治癒が難しい軟骨組織ですが、軟骨細胞には増殖する力があるため、自身の軟骨細胞を増やして損傷した場所に移植する治療法が確立されました。

「自家培養軟骨ジャック®」は膝関節の軟骨損傷（外傷性軟骨欠損症・離断性骨軟骨炎）の治療を目的とした製品です。患者から採取した軟骨細胞をアテロコラーゲンゲルというゲル状の中で約4週間培養し、軟骨組織を作り、再び患部に戻します。移植後、リハビリなどによる刺激を受けて更に活性化して厚みを増し、患者本人の軟骨本来の性質に近づいていき、症状を緩和します。

2013年4月1日よりジャックは保険適用が認められました。ジャックの使用には膝関節の手術やリハビリテーションが必要なため、医師や医療施設に一定の基準が設けられています。

[\(特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について：保医発 0305 第5号\)](#) (P17~18)



図：自家培養軟骨の移植フロー（膝関節）  
（出典：株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング）